

「令和 8 年度当初予算の編成について」ポイント

令和 7 年 10 月 6 日

1 令和8年度当初予算編成の基本方針

- 県民との対話の中から見いだした本質的な課題に向き合いながら、基本計画等に基づく取組を着実に推進し、成果を実感してもらえよう、青森新時代の挑戦を続ける
- 「地域特性を生かしたしごとづくりと所得向上・労働力確保」「いのちとくらしを守る基盤強化と共生社会の実現」「若者の定着・還流と『こどもまんなか青森』の推進」を最優先に、**基本計画に掲げる7つの政策テーマに基づく各種施策**について、
 - ・ 県民対話集会「#あおばな」などで寄せられた県民の声に真摯に耳を傾け、**県民が青森県の変化を想像し、実感できる事業**を構築する。
 - ・ 組織や分野の枠を越え、**前例や固定観念にとらわれない新たな手法や発想**で、効果的かつ効率的な事業を構築する。
 - ・ 市町村をはじめ、あらゆる主体と役割分担、連携・協働しながら、**県全体で広がりのある取組**をめざす。
- 物価高等による経費の増加に適切に対応しつつ、政策資源を集中するという観点から、**これまで以上に徹底した事業の見直し、廃止を行う**
- 国スポ・障スポ本大会開催や各種施設整備による経費の増加にも適切に対応しつつ、**持続可能な財政運営を継続**（財政調整用基金の取崩額をゼロとする収支均衡や県債残高の縮減）

2 令和8年度見積目安額の設定①

(1) 部局政策経費

物価高等を踏まえた適切な予算見積りが必要となる一方で、政策資源を集中するという観点から、これまで以上に徹底した事業の見直し、廃止を行うこととし、**ゼロシーリングを継続**

	削減率
・政策的経費（政策的検討を要する経費）	±0.0%
・経常的経費（固定的な管理運営等経費）	±0.0%
・貸付金	±0.0%

(2) AX（青森大変革）対応経費

A X（Aomori Transformation）の基本理念に基づく青森大変革に資する**新機軸の政策展開**に必要な取組については、継続事業を含め**予算編成過程で対応**（要求に当たっては部局政策経費の見直しの徹底が前提）

2 令和8年度見積目安額の設定②

(3) 公共事業関係費

- 原則として、**地方負担（県債＋一般財源）ベースで前年度当初比±0%**の見積目安額を設定
なお、国の予算編成の状況を踏まえ、所要経費について**予算編成過程で対応**
- 令和7年度と同様に自然災害防止等のための緊急的な安全対策に係る取組については、別枠で対応

(4) 施設等整備費

公共施設等の老朽化対策や大規模施設整備を着実に推進していくため、公共施設等適正管理推進事業債等の各種財源を積極的に活用しつつ、**所要の見積目安額を設定**

(5) 緊急課題・行財政改革対応経費

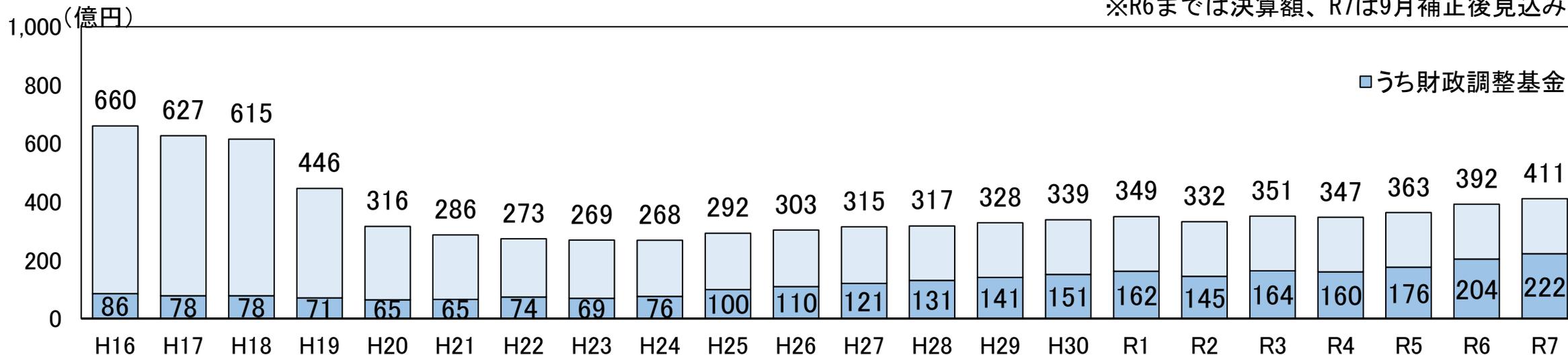
緊急的な課題や県庁DXをはじめとする行財政改革に対応するための経費について、デジタル活用推進事業債等の各種財源を積極的に活用しつつ、**所要の見積目安額を設定**

予算要求見積期限 令和7年11月14日（金）

(参考) 財政調整用基金及び県債残高の状況

① 財政調整用基金残高の推移

※R6までは決算額、R7は9月補正後見込み



② 県債残高の推移

※R6までは決算額、R7は9月補正後見込み

